

令和4年秋
完成お披露目予定！

重要文化財 臨春閣 保存修理事業

重要文化財臨春閣では「令和の大修理事業」として、平成30年度より屋根葺替工事および耐震補強工事を進めて参りました。3年以上もの長きにわたる工事によって、傷んでいた屋根などは新たに整えられ、また耐震補強工事によって建物の健全性が向上しています。長らくの工事を経て令和4年の秋には完成を迎える予定となっていますので、お披露目公開の日をどうぞ楽しみにお待ちください！



We are working on the construction of Rinsunkaku now from 2019. It is a re-roofing construction to make a new 'hiwada' roofing and 'kokera' roofing and seismic reinforcement construction to make this villa strong not to destroy by the huge earthquake. We plan to finish this construction in the autumn of 2022, and then we will show you inside of this villa and what we've done at this construction. Please look forward to completion and unveiling!

本工事では、大切な文化財建造物を適切に守り継ぐため、伝統の技術を受け継ぐ「現代の匠たち」がその腕を揮っています。ユネスコ無形文化遺産★にも登録された「匠の技」をご紹介します。

★ ひわだぶき こけらぶき
檜皮葺・柿葺

担当：檜皮葺・柿葺屋根

More info 公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会
<http://www.shajiyane-japan.org/>

ヒノキの皮を並べて葺く「檜皮葺屋根」と、薄い木の板＝柿板を並べて葺く「柿葺屋根」の葺替を行います。現場で葺きの作業をする「葺師」のほか、材料製作として檜皮葺の檜皮を採集する「原皮師」、檜皮の拵えや柿板製作を担う職人ら縁の下の力持ちに支えられ各種屋根が作られます。



★ けんぞうぶつもっこう
建造物木工

担当：各所の木部（耐震補強工事も）

通称「大工さん」。建造物の木材部分に関するあらゆる場面の施工を担当しています。丁寧な解体（≠破壊）と繕いにより、建造物の木材は大切に長く使われ続けます。耐震壁施工など、新しい技術にも手腕を発揮します。



More info 一般社団法人 日本伝統建築技術保存会

★ けんぞうぶつしゅうり
建造物修理

担当：設計監理※

※工事内容の「設計」をし、設計図通りに工事が進められているかチェックしたり、現場に指示を出したりする＝「監理」を行う業務

文化財建造物の保存修理は、文化財としての価値を損ねないように、慎重に調査し修理方針を検討しなければなりません。このため国庫補助を受ける保存修理工事においては、あらかじめ文化庁の承認を受けた「主任技術者」が設計監理を行います。主任技術者は、実測調査、資料調査など各種調査を行い、実測図、調書、写真などの記録を作成します。これに基づき、解体範囲や部材の取り替え、部材の補修方法などについて、的確に判断し指示を行います。このように主任技術者は、保存修理全般にわたり重要な役割を果たします。



More info 公益財団法人文化財建造物保存技術協会
<http://www.bunkenkyo.or.jp>